

「頻出論理マーカ―」のまとめと演習

1. 「論理マーカ―」とは？

論理マーカ―とは、前後をある種の論理で結びつける語句のこと。discourse marker とも呼ばれています。論理マーカ―は品詞としては「接続詞」「副詞」「前置詞(句)」などがあります。みなさんに一番おなじみの論理マーカ―は however, for example, so して therefore あたりでしょうか。however は「しかしながら」という意味で、前後を「逆接[対比]」の(論理)関係で結びつけます。

(ex) She believed the story; however, her husband didn't believe it.

彼女はその話を信じた。しかしながら、夫はそれを信じなかった

上の英文でも however の前後は「信じる」「信じない」と、逆の(対比的な)関係になっていますネ。

for example は「例えば」という意味で、前後を「抽象とその具体例」のイコール関係で結びつけます。

(ex) There are a lot of domestic animals on the farm; for example, cows, horses and pigs.

その農場には多くの家畜がいる。たとえば乳牛、馬、豚などだ

上の英文でも for example 以降は、(その農場の)家畜の具体例であり、両者は(内容的に)イコール関係ですネ。

therefore は「それ故」「だから」という意味で、前後を「原因と結果」の(論理)関係で結びつけます。

(ex) I've never been to The U.S.; therefore I don't know much about it.

アメリカへは1度も行ったことがない。だからよく知りません

上の英文でも therefore の前後は「原因と結果」の関係になっているのがわかりますネ。

論理マーカ―についての知識を問う問題は、文法・語法問題でも時として出題されることがあります。

After many years of war, the country has lost much of its power. □, its influence

should not be underestimated.

- ① Even so ② Even though ③ So ④ Thus

【解説】

まず②(Even though)は節(S+V)と節(S+V)をつなぐ接続詞。直後がカンマで区切られて使われることはないのでこれは違うとわかる。

(ex) Even though he is over eighty, he can walk pretty quickly.

S+V S+V

彼は80歳を越えているがかなり速く歩ける

空欄の前の英文は「長年の戦争の後、その国は大半の力を失ってしまった」。空欄の後ろの英文は「その影響力は過小評価されるべきではない」。空欄の前後の内容は対照的であることがわかる。このような(論理)関係で前後を結びつけることができるのは①(Even so)しかない。意味は「たとえそうだとしても」。ちなみに③(So)と④(Thus)は「したがって」という意味で、前後を「原因(理由)と結果」の関係で結びつける。

(ex) He got quite excited, so he didn't feel sleepy at all.

彼はすっかり興奮したので少しも眠いと感じなかった
You failed all your tests. Thus you can't graduate.

君は全部のテストに落ちた。従って卒業できない

2. 「論理」とは？

ところで「論理」とは何でしょうか？「論理」というと、なにかそれだけで難しく聞こえるかもしれませんが。でも、実はそんなに大したものではありません。なぜなら、結局のところ「論理」といってもそれは3種類しかないからです。具体的には以下の3つがそれです。

(1) A ⇔ B

前後が内容的に「逆(又は対照的・対比的)」の関係になる論理。

(2) A = B

前後が内容的に「イコール」の関係になる論理。

具体的には、「抽象とその具体例」「追加[添加]」「言い換え」など。

(3) ① A(原因) → B(結果) / B(結果) ← A(原因)

前後が「原因とその結果」「結論とその原因」の関係になる論理。

② A(問題提起) → B(解答)

では早速、それぞれの論理を作り出す論理マーカ―を具体的に見ていくことにしましょう。

(1) 前後を「逆(又は対照的・対比的)」の関係で結びつける論理マーカ―。

以下にあげた語句によって結びつけられたAとB(前半と後半)は、内容的に「逆(又は対照的・対比的)」の関係になる。

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| ① A. But B | 「A。しかしB」 |
| Though S + V~, S + V... | 「~だけれど、...だ」 |
| Although S + V~, S + V... | 「~だけれど、...だ」 |
| While S + V~, S + V... | 「~だけれど、...だ」 |
| ② A. However, B | 「A。しかしながらB」 =though, |
| =A. Yet, B | 「A。にもかかわらずB」 |
| =A. Still, B | 「A。それでもなおB」 |
| =A. All the same, B | 「A。それでもなおB」 |
| =A. Nevertheless, B | 「A。にもかかわらずB」 |
| =A. Nonetheless, B | 「A。にもかかわらずB」 |
| ③ A. On the other hand, B | 「A。その一方(で)B」 |
| =A. Meanwhile, B | 「A。その一方(で)B」 |
| ④ A. In spite of this, B | 「A。これにもかかわらずB」 |
| ⑤ Opposite to A, B | 「Aとは逆に、B」 |
| ⑥ A. On[To] the contrary, B | 「A。それどころかB」 |
| ⑦ A. In[By] contrast, B | 「A。対照的にB」 |
| ⑧ A. By comparison, B | 「A。対照的にB」 |

(ex) 「昔のテレビ番組は楽しかった。しかしながら、今のTVはつまらない」

「私は、その料理はおいしいと思った。これに反して、妹はまずいと思ったようだ」

「野球は若者に人気がある。その一方で、相撲は人気がない」

「彼は裁判で無罪の判決を受けた。それでもなお、彼女は、彼は有罪だと言い張った」

「彼はおとなしい女の子が好きだ。それとは対照的に、僕はにぎやかな女の子が好きだ」

《注意事項》

1. 上記の中で①の **but, though, although, while** は接続詞(それ以外は全て副詞)なので、例えば空欄補充問題などで(空欄の)直後にカンマ(,)があったら、そこに入れることはできない。

ただし、**though** だけは、文中・文末で、(カンマで区切られてたりして)用いられると、副詞になり、「しかしながら(=however)」という意味になる。

以下はそんな副詞の **though** を用いた例文。

(ex) Ted didn't want to tell us the story ; he did, though.

テッドは我々に話したがらなかった。でも結局は話してくれた

The most important point, though, is to understand the importance of going over your copy more than once.

重要なことは、けれども、メモを2回以上読み返すことの大切さを理解することです

2. また **but** はなんの脈絡もなく冒頭で用いられることはない。つまり

(1) 第一パラグラフの冒頭に **But** がきたり

(2) **But S + V**~, **S + V**...

というような使われ方はしない。

罫 **S + V. But S + V**...はOK。

3. 「それどころか」という **On the contrary** は、直前の内容の程度を更に強めた文を導くこともある。以下の例文でも **on the contrary** の後ろの内容は、前の内容を強調している(逆接ではない)。

(ex) He's not stingy; on the contrary, he's very generous to the needy.

彼はけちではない。それどころか、困った人にはとても気前がよい

(2) 前後を「イコール」の関係で結びつける論理マーカー。

以下の語句によって結びつけられたAとBは「イコール関係」が成立しています。BはAの内容の「具体例」や「言い換え」や「付け加え」などであったりします。内容的には両者は基本的に「イコール(又は類似)」である点がポイントです。

① 「A(抽象) = B(Aの具体例)」

1. such A as B 「A. たとえばBのような」「BのようなA」
=A such as B

2. A. For example, B 「A. たとえばB」
=A. For instance, B
=A. To name (but) a few, B
=A, say, B

(ex) 「彼にはたくさんの長所がある。例えば、頭がいいし、性格も温和だ」

《注意事項》

such as も後ろにカンマ(,)があったら使えない。逆に for example[instance]は、通例カンマで区切って用いる。

② 「A = B(Aの言い換え)」

1. A. That is to say, B 「A. すなわちB」
=A. That is, B
=A. Namely, B

2. A. In other words, B 「A. 言い換えればB」

3. A. In short, B 「A. 要するにB」
=A. In a word, B
=A. In brief, B
=A. To sum up, B
=A. (To put it) Briefly, B
=A. (To put it) Shortly, B
=A. To make[cut] a long story short, B

(ex) 「半年前、すなわち今年の四月に彼は大学生になった」
「もう会いたくない。要するに君のこと嫌いなんだ」

③ 「A = B (Aの付け加え的内容)」

1. A~, B also~. 「Aは~だ。Bもまた~だ」
=A~, B~, as well.

2. A. Besides, B 「A。更に加えてB」
=A. Moreover, B
=A. In addition, B
=A. Further(more), B
=A. What is more, B
=A. Additionally, B

3. In addition to A, B 「Aに加えて、更にB」
= Besides A, B
= Adding to A, B

(ex) 「私、夕食にごはん3杯食べちゃった。それに加えて[おまけに]、デザートも食べちゃった」
「優しさに加えて、彼は誠実さも兼ね備えている」

4. Not to mention A, B 「Aは言うまでもなく、B」
=to say nothing of A, B

④ 「A = B (Aと類似・同様の内容)」

A. Similarly, B 「A。同様にB」
=A. Equally, B
=A. Likewise, B
=A. In the same way, B

(3) 前後を「原因[理由]と結果」の関係で結びつける論理マーカー。

① 「原因 → 結果」の関係

1. A. Thus, B 「A。その結果B」 A = 原因[理由]
2. A. Therefore, B 「A。それ故B」 B = 結果
=A. Hence, B
=A. Accordingly, B
=A. Consequently, B
3. A. As a result, B 「A。その結果としてB」

4.A. This is why S+V... 「A. こういうわけで…だ」

=A. For this reason, B 「A. このような理由でB」

=A. Because of this, B

5.Since S+V~, S+V... 「~なので、(その結果) …だ」

= Because S+V~, S+V...

S+V~. So S+V... 「~だ。それ故[だから]…だ」

6.Because of A, S+V... 「Aの理由で、S+V…だ」

= Due to A

= Owing to A

= On account of A

= Thanks to A

(ex) 「彼は宿題をしてこなかった。**その結果**、居残りをさせられた」

「今日は風邪気味だった。**それ故**学校を休んだ」

② 「結果 ← その原因[理由]」 の関係

1. S+V~. This is because S+V... 「~だ。というのは(原因は) …だからだ」
[結果] [原因]

= S+V~, for S+V...

2. S+V~. The reason for this is that S+V...

S+V~. One of the reasons for this is that S+V...

「~だ。その理由(の一つ) は…だ」

(ex) 「アメリカは殺人事件が多い。**というのはアメリカは銃が多いからだ**」

3.A. After all, B 「A. なぜならB」

(ex) It is no use getting angry with him. After all, he is only a child.

彼のことで腹を立てても無駄だ。だって(なぜなら)まだ子供なのだから

彙もちろん after all には「[通例文尾で](意図・予想・計画などに反して)結局」

「やはりとうとう」といった意味もある。

(ex) I thought she was going to fail the exam, but she passed after all.

私は彼女が試験に落ちると思ったが結局は受かった(よかった)

So you have come after all.

ほう、やっと来てくれたね

4.その他の頻出の論理マーカー。

(1) A. Instead, B

①「A。それよりはむしろB」[A⇔B]

「A。それどころか(ところが)B」

會AとBは「逆(又は対照的・対比的)」の関係になる。

(ex)「都会の華やかさもいいが、それよりはむしろ個人的には田舎の静けさが好きだ」

②「A。その代わりにB」 [A⇔B]

會BはAのまさに”代わり”となる内容になる。ただ両者の関係は、対照的に
なることが多い。「Instead of A, B:AをせずにB」という言い方もある。

(ex)「妹は、母の手伝いはしないで、代わりにテレビを見ていた」

(2) A. Otherwise, B 「A。さもなければB」

會Aは条件。Bはそれに反した場合の結果。

(ex)「しっかり勉強しなさい。さもないと、お父さんみたいになっちゃうわよ」
[前半の条件に反した場合の結果]

(3) A. In fact, B

=A. As a matter of fact, B

①「Aだ。(ところが)実はBだ」 [A⇔B]

會AとBは「逆(又は対照的・対比的)」な関係になる。

(ex)「彼は金には困っていないと言った。ところが実は借金まみれだった」

②「Aだ。それどころか実際Bだ」 [A = B (Aの程度を更に強める内容・補足。又は
具体例など)]

會BはAの程度をより強めた内容・補足、あるいは具体例などになる。

Indeed, Actually で言い換えられる。

(ex)「彼女は気にしちやいないよ。それどころか実際、喜んでるんだよ」

會 実際の英文では②の用法で用いられることが多い。

(4) A. Rather, B

① 「Aだ。それどころかBだ」 [A = B (Aの程度を更に強める内容)]

= On the contrary

⊕ BはAの程度をより強めた内容になる。

(ex) 「彼を尊敬なんかしちゃいない。それどころか軽蔑しているよ」

② 「Aだ。むしろその代わりBだ」 [A ⇔ B]

= Instead

⊕ AとBは「逆(対照的・対比的)」の関係になる。

(ex) 「自分のことばかり話すのは良くないよ。むしろその代わり人の話をよく聞くようにすべきだ」

③ [A. Or rather B] 「Aだ。もっと正確に言えばB」

= A. More correctly, B [A = B]

⊕ AとBは「イコール」の関係になる。

(ex) 「僕は野球のことは詳しくない。もっと正確に言えば、ルールもろくに知らないんだ」

(5) 結論を導く論理マーカ―。

① in conclusion 「結論として」

= as a conclusion

② in any case[event] 「いずれにせよ[しても]」

= at any rate

③ to sum up 「要約すれば[すると]」

⊕ これらの論理マーカ―の後ろには、文字通り「結論・まとめ[要約]」又は「主張の再提示」となる内容がくる。

(6) 「譲歩」や「一般化」を表す論理マーカー。

「譲歩」や「一般化」を表わす論理マーカーは、「逆接」「対比」を表わす論理マーカーとセットで用いられ、その(「逆接」「対比」を表す論理マーカーの)後に筆者の「主張(つまりトピックセンテンス)」がくることが多いのです。

これもわかりやすいように、日本語で例をあげてみましょう。

(ex) 「一般的に言って老人は記憶力が悪い。しかし、昔のこととなると彼らの記憶力は頼りになる。何十年も前のことを、まるで昨日のこのように覚えている。先日もうちの祖父は…」

「なるほど、最近の若者は頼りない。昔なら男は12歳にでもなれば、侍なら元服、つまり一人前の大人とみなされた。女も15~16歳で嫁に行くのは当たり前だった。しかし、現代という時代性を考慮に入れると、一概にそうとも言えないのではかろうか。価値観の多様化高度情報化、国際化等、現代の若者を取り巻く情勢は過去に例を見ないほど複雑だ」

上記の2つの例文の場合、「しかし」という逆接語の前までは、単なる「(譲歩の)一般論」であり、「しかし」の後に「主張」が述べられています。

① 「一般化」を表す論理マーカー

on the whole	「一般的に言って」
in general	「 " 」
by and large	「 " 」
as a rule	「 " 」
generally speaking	「 " 」
all in all	「だいたい」「概して」
in most cases	「たいていの場合には」
in almost all cases	「 " 」
in many cases	「多くの場合」
broadly speaking	「大雑把に言って」
to some extent[degree]	「ある程度は」
mostly	「大部分は」
most people	「大抵の人々は」

② 「譲歩」を表す論理マーカー

(It is) True (that) S+V～	「なるほど～だ」
Of course, S+V～	「なるほど～だ」
Indeed, S+V～	「なるほど～だ」
No doubt, S+V～	「なるほど～だ」
At first, S+V～	「はじめのうちは～だ」
S+may+V～	「～かもしれない」
Certainly, S+V～	「確かに～だ」
Surely, S+V～	「確かに～だ」
To be sure, S+V～	「確かに～だ」

⚠ 「確かに～だ」という表現の場合、「譲歩」を示す場合と、（それとは逆に）筆者の主張を補足する際に用いられることもある。
あるいは、単に「確かに、確実に、必ず」という意味で用いられることもある。

(ex) He has never broken his promise. He will surely be here on time.

彼は一度も約束を破ったことはありません。必ず時間どおりに来ますよ

may[might]なども、単なる推量を意味することもあるが、段落冒頭のこれらの語句、それから逆接の論理マーカーと共に用いられている場合は、100% 「譲歩」を表すと思ってい。

3. 「論理マーカ―」確認問題

A. 次の文章の（１）・（２）に入れるのに最も適当な語句を、それぞれ下の①～④のうちからひとつずつ選べ。

1. Seeing bears in the wild can be one of the most memorable experiences on camping trips in national parks. (1) it can also be a dangerous one if care is not taken. Some campers make foolish mistakes. For example, they get out of their cars to take a snapshot or even try to feed the bears. (2) acting like this toward wild bears can turn an enjoyable vacation into a tragedy.

(1)

① Nor ② Otherwise ③ Therefore ④ Yet

(2)

① Meanwhile ② Namely ③ Shortly ④ Unfortunately

【解答&解説】

(1)

まず「形」から①の Nor の可能性が消える。なぜなら Nor は否定の接続詞で、これも文頭で使われると、否定の副詞の場合と同じようにその後は「疑問文と同じ語順」になるからだ。それから、②の otherwise(さもないば)は、これ自体が if 節と同じ意味を持っている。なのに(1)の直後の英文には後半に更に if 節がくっついている。これは変だ。

答えは③(それ故)と④(にもかかわらず、しかしながら)に絞られた。後は「論理」。つまり③は前後を「原因と結果」の関係で、④は前後を「逆[対照的]」の関係で結びつける。どちらが
いいか。

「野生の熊を見るのは国立公園でキャンプをする旅の中では最も心に残る(思い出深い)経験の一つだ」

(1)

「もし注意を払わなければ、危険なこともある」

両者は「逆[対照的]」の関係になっている。答えは④だ。

(2)

まず②(すなわち)と③(要するに)だが、これらは両方とも後ろに「直前の言い換え」となる内容を導く論理マーカ―だ。つまり②が正解なら③も正解になりえてしまう。選択肢に同じ意味の(同じ論理を導く)ものがあつたら、それらは両方とも答えの可能性から外していい。

①(その方)は、前後を「逆[対照的]」の関係で結びつける。④(あいにく、残念ながら)は、不本意な(残念な)内容がその後にはくる。

「例えば、彼らは車から出て写真を撮ったり、あるいは熊にエサをやろうとさえしてしまう」

(2)

「野生の熊に対してこのように振る舞うことは、楽しいはずの休暇を悲劇に変えてしまうこともありうる」

両者を結びつけるにふさわしいのは④になる。

《訳》「野生の熊を見るのは国立公園でキャンプをする旅の中では最も心に残る(思い出深い)経験の一つだ。しかしながら、もし注意を払わなければ、危険なこともある。キャンプをする人の中には愚かな間違いをしてしまう人もいる。例えば彼らは車から出て写真を撮ったり、あるいは熊にエサをやろうとさえしてしまう。残念なことに、野生の熊に対してこのように振る舞う楽しいはずの休暇を悲劇に変えてしまうこともありうる」

2. Fainting, the condition of a brief loss of consciousness, occurs from lack of oxygen (O₂) in the brain. Tension on blood vessels can lead to this condition.

For example, a quick turn of the head can reduce blood flow to the brain, which naturally reduces the oxygen in the brain. (1), wearing neckties or shirts with tight collars can put pressure on the vessels. (2), the brain, lacking enough oxygen, fails to work properly.

(1)

- ① Moreover ② Anyway ③ Finally ④ Instead

(2)

- ① As a result ② At least ③ In contrast ④ What is more

【解答&解説】

(1)

まず選択肢の中で③はないだろうと予想できる。なぜなら③(最後)は、Firstly(第一に)、Secondly(第二に)などとセットで用いることが多い。単独でいきなり文頭で、Finallyなど、評論的な英文ではまずすることはない。

残りは一つ一つその導く論理を確認していこう。

①(更に)は、直前の「付け加え」的な内容が後にくる。②(いずれにせよ、それはさておき)は、日本語と使い方は同じで、

(1)(すでに述べたことはさておき)「まあいずれにせよ」

(2)(一度脱線したあと話を本題に戻して)「ともかく」「それはそうとして」

といった使い方をする。

④(その代わりに、むしろ)によって結ばれる前後は、多くの場合「逆[対照的]」の関係になる。それでは空欄の前後を読み比べてみよう。

「血管の緊張がこのような状態を引き起こすことがあり得る」

+

「例えば、急に頭を振ると脳への血液の流れが減少し、当然脳内の酸素が減る」

(1)

「ネクタイや(首周りの)きついシャツを身につけていると血管に圧力を

加えてしまうこともあり得る」

空欄の前の英文は、「血管の緊張」の原因となる行為の具体例。空欄の後ろの英文はまた別の具体例。つまり「付け加え」。ということは正解は①ということになる。

(2)

②(少なくとも)は、よく but とセットで用いて前後を「逆[対照的]」の関係でつないだりする。

(ex) 「彼は、頭は悪いかもしれない。しかし少なくとも性格は良い」

①(その結果として)は、前後を「原因と結果」の関係、③(対照的に)は、前後を「逆[対照的]」の関係でそれぞれ結びつける。④(おまけに)は、moreover と同じ意味。つまり前の英文の「付け加え」的な内容がその後にはくる。では空欄の前後を読み比べてみよう。

「ネクタイや(首周りの)きついシャツを身につけていると血管に圧力を加えてしまうこともあり得る」

(2)

「脳は十分な酸素が得られず、適切に機能できなくなる」

これはどう見ても「原因と結果」の関係だ。正解は①。

《訳》 「気絶、すなわち意識が短時間失われる状態は、脳内の酸素の欠乏によって起こる。血管の緊張がこのような状態を引き起こすことがあり得る。例えば、急に頭を降ると脳への血液の流れが減少し、当然脳内の酸素が減る。更に加えてネクタイや(首周りの)きついシャツを身につけていると血管に圧力を加えてしまうこともあり得る。その結果、脳は十分な酸素が得られず、適切に機能できなくなる」

B. 次の問では、空欄に入れるべき三つの文が、順不同で下のA～Cに示されている。論理的な文章にするのに最も適当な配列のものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

1. One aspect of sports is winning or losing. Athletes, coaches, and spectators all agree that no one likes to lose. () Recognizing these differences in attitudes will help us when talking to athletes who have lost.

A. Studies show that female athletes tend to say failure is caused by their lack of skill or effort.

B. Male athletes, on the other hand, tend to point to factors such as luck or the strength of the opponents.

C. Researchers, however, have found differences in the ways male and female athletes respond to losing.

- ① A-B-C ② C-A-B ③ A-C-B
④ C-B-A ⑤ B-C-A ⑥ B-A-C

【解答&解説】

まず、「論理マーカー」をチェックする。Bの **on the other hand**(**その方**)がすぐ目に飛び込んでくる。これは前後を「**逆[対照的]**」の関係で結びつける論理マーカーだ。つまり、Bの直前には、Bとは「**逆[対照的]**」な内容を持つ英文がなくてはならない。そんな英文はAしかない。

A. 「研究では、女性のスポーツ選手は負けたのは自分の技能や努力が足りないせいだと言う傾向があることを示している」



on the other hand(**その方**)



B. 「男性のスポーツ選手は運とか対戦相手の力のような要因を指摘する傾向がある」

次はCの英文中の **however**。これも、前後を「逆[対照的]」の関係で結びつける論理マーカ―だ。

C. 「しかしながら、研究者たちは、男性のスポーツ選手と女性のスポーツ選手では敗北に対する反応が**異なっている**ことを明らかにしている」

「異なっている」の「逆」は「同じ、一致する」だ。そんな内容がどこに見つかるかという、空欄の直前の英文だ。

「選手、コーチ、観客いずれも負けるのを好む者はいないという点で意見が**同じだ**[一致する]」

これで正解は C-A-B とわかった。

《訳》「スポーツの一つの側面として、勝ち負けがある。選手、コーチ、観客いずれも負けるのを好む者はいないという点で意見が同じだ。しかしながら研究者たちは、男性のスポーツ選手と女性のスポーツ選手では敗北に対する反応が異なっていることを明らかにしている。研究では、女性のスポーツ選手は負けたのは自分の技能や努力が足りないだと言う傾向があることを示している。その一方、男性のスポーツ選手は運とか対戦相手の力のような要因を指摘する傾向がある」

2. Economic growth refers broadly to an increase in wealth over a certain period of time. ()

Even though gross national product, GNP, is a widely used measure, there are those who argue that it is not the most appropriate.

A. There are some differences of opinion among these specialists, though.

B. Economists generally agree on what influences economic growth.

C. They disagree, for example, about how they should measure economic growth.

- ① C-A-B ② A-C-B ③ B-C-A
④ C-B-A ⑤ A-B-C ⑥ B-A-C

【解答&解説】

まず選択肢中の「論理マーカー」と「指示語」をチェックする。

Aに二つ見つかる。though と、these specialists の these だ。though は、文中や文末でカンマ(,)などで区切られて用いられると however と同じ意味の副詞になる。つまり前後を「逆[対照的]」の関係で結びつける。それから specialists に these がついているということは、specialists(又は specialists に相当する語)がその前で使われていたはず、と類推できる。この二つの条件を満たす英文はどれか？ それはBだ。

B. 「経済学者(Economists)達は、何が経済成長に影響を与えるのかということに関して概して意見が一致(agree)している」



A. 「しかしながら、これらの専門家たちの間で、いくつかの意見の違いがある」

specialists は、economists を受けていたんだ(確かに economists は経済の専門家だ)。さて、B-Aのつながりが分かると、後は「B-A-C」になるのか「C-A-B」になるのかという二者択一だ。これをカンタンに見極めるヒントはCの主語の They だ。もし「C-A-B」となるなら、空欄の直前の英文中に、この They になりうる「複数名詞」があるはず。が、そのような「複数名詞」は直前の英文中にはない。ということはもう答えは「B-A-C」しかない。

《訳》 「経済成長とは、広い意味ではある一定期間の間の富の増加のことを指す。経済学者たちは、何が経済成長に影響を与えるのかということに関して概して意見が一致している。しかしながらこれらの専門家達の間で、いくつかの意見の違いがある。例えば彼らはどのように経済成長を測るべきかということに関して意見が一致していない。国民総生産(GNP)は広く利用されている尺度であるにもかかわらず、それは最適なものではないと主張する専門家たちもいる」

3. Many people believe that it rains all the time in Britain. () For example, London's annual rainfall is not much different from that of Paris or Berlin.

A. However, the climate of southeast Britain is more or less the same as that of the northwestern part of the European mainland.

B. The image of a wet, foggy land was created two thousand years ago by the Romans, who were from sunny southern Europe.

C. This image has been preserved in modern times by Hollywood movies.

① B-A-C ② C-A-B ③ A-B-C

④ B-C-A ⑤ A-C-B ⑥ C-B-A

【解答&解説】

同じように「論理マーカー」それから「指示語」もチェックする。すぐ目に飛び込んでくるのは、Aの **However** だ。

「しかしながらイギリス南東部の気候はヨーロッパ本土の北西部の気候と多かれ少なかれ同じなのである」

この英文と「逆[対照的]」の内容が、その前にはくるはず。

次にCの This image の This だ。This がついているということは image(又は image に相当する語)がCの前の英文になければならない。とするとBの主語が The image で、これ以外、image という単語はどこにも使われていないので、-C とつながるのでは、と類推できる。

次に着目してほしかったのは空欄の直後の For example だった。これは前後を「抽象とその具体例」という「イコール」の関係で結びつける。For example の後には、直前の英文の具体例となるような内容がくる。

「たとえば、ロンドンの年間降水量はパリやベルリンの年間降水量とそれほど変わらないのである」

この内容と「イコール関係」になりうるのはAしかない。これで正解は「B-C-A」と決まった。Aの However はこうしてみると、前の内容全部を受けて、それを逆転させていたのだとわかる。

《訳》 「多くの人達はイギリスではいつも雨が降っていると信じている。はじめじめして霧が多い国というイメージは2000年前、天気のいい南ヨーロッパ

からやってきたローマ人によって作りあげられた。このイメージはハリウッド映画により、近年においては保持されている。しかしながら、イギリスの南東部の気候はヨーロッパ本土の北西部の気候と多かれ少なかれ同じなのである。たとえば、ロンドンの年間降水量はパリはベルリンの年間降水量とそれほど変わらないのである」

C. 空欄に入れるべき選択肢の組み合わせとして最もふさわしいものを一つ選べ。

The desire for peace is common to almost all human beings. History has shown,(1),that lasting peace is difficult to achieve (2) disagreements and misunderstandings between people and countries.

A. Because of B. But C. For example D. Though

① C-B

② C-D

③ D-A

④ D-B

【解答&解説】

まず①～④の選択肢から、先頭にくるのはC.(for example)かD.(though)だとわかる。そこでそれぞれの語の作り出す論理を考えてみる。

for example は、その前後を内容的に等しい関係で結ぶ。具体的には一般論[抽象論]とその具体例の関係になる。つまり for example の後には、前の内容の具体例となるような文が来る。

though は普通は接続詞として用られるのだが、文中、文尾でカンマに区切られて「しかしながら(=however)」という意味になることがある(この場合、品詞的には副詞になる)。そしてその場合、前後を「逆[対照的]」の関係で結ぶ。

次に前後の論理を考えるのだが、今回の場合注意してほしい事が1つある。それは、(1)の部分を文頭に移動させてからその論理を考えるということ。このように論理マーカ―が文中に(カンマなどではさまれて)挿入されてしまっている場合、必ず文頭に移動させて、その前の文との論理を考えるようにすること。

History has shown,(1),that lasting...



(1), history has shown that lasting...

つまり今回比較すべき前後の論理というのは The desire で始まる第1文と、History で始まる第2文との間の論理なのだ。

The desire for peace is common to almost all human beings.

平和への願いはほとんど全ての人類に共通のものである

(1) History has shown that lasting peace is difficult to achieve...

歴史は永続的な平和を達成するのは困難であるということを明らかにしている

そうすると両者の論理は「逆(対比)」の関係になっていることがわかる (少なくとも両者が「たとえば」で結びつくことはありえない)。

したがって正解は③ (D - A) か④ (D - B) のどちらかになる。

次に (2) だが、これは「形[構造]」から考えるとわかりやすい。つまり **But は、前後を構造的に等しい関係で結ぶ**。ところが (2) の前後は構造的に等しい形にはなっていない。

difficult to achieve (2) disagreement and misunderstandings

形容詞+to不定詞

名詞+名詞

したがって正解は③だということになる。

《訳》 「平和への願いはほとんど全ての人類に共通のものである。しかしながら歴史は、人民と国家との間の不一致や誤解の故に、永続的な平和を達成することは難しいということを明らかにしている」

D. 次の文章の (1) ~ (4) に入れるべき4つの語または語句が、順不同で、下のA~Dに示されている。意味の通る文章にするのに最も適した配列を、①~④のうちから1つ選べ。

(1) most of us have the impression that bones are dry, living bones are actually not dry at all. (2), they have a wet outer layer. (3), inside they contain a soft, moist material that is essential to life itself. (4), “dry” is by no means an accurate description of living bones.

A. Although

B. Furthermore

C. Therefore

D. To begin with

① A - C - D - B

② A - D - B - C

③ D - A - B - C

④ D - C - B - A

【解答&解説】

まず（ 1 ）を含む英文の構造に着目する。

（ 1 ） most of us have the impression that bones are dry,
S V

living bones are actually not dry at all.
S V

どうやら（ 1 ）には節(S+V)と節(S+V)を結ぶことができるものが入らなければならないだろうということが見えてくる。選択肢の中でこのような構造を後ろに従えることができるのは(従位)接続詞の Although のみ。この時点で正解は①か②に絞られた。

Although は両者を対比[対照]的な関係で結びつけるのがその特徴。確かにここでも、Although の後ろの2つの節同士は、内容的に対比的な関係になっている。

「私達のほとんどは骨は乾いていると思っているけれども、生きている骨は実際には全く乾いてなどいない」

次にわかりやすいのが（ 3 ）だ。（ 3 ）の前後は wet(湿った)に moist(湿った)と、同じ内容の形容詞が使われている。つまり内容的な変化がない。となると、そのような関係で前後を結びつけるのはBの「おまけに」という意味の Furthermore だけ。（ 1 ）にAが、（ 3 ）にBがくる並びになっているのは②(A-D-B-C)だ。

《訳》「我々のほとんどは骨は乾いていると思っているけれども、生きている骨は実際乾いているなどということは全くない。まず第一に骨には湿った外層がある。更に加えて、内側には生命それ自体にとって不可欠なやわらかい湿り気を帯びた物質を骨は含んでいる。それ故、“乾いている”という言葉は、生きている骨を正確に表現したものでは全くない」

E. 次の問では、空欄に入れるべき4つの文が、順不同で、下のA～Dに示されている。意味の通る文章にするのに最も適した配列を、①～④のうちから1つ選べ。

To stay healthy, we should maintain a balance between physical and mental play – the play of the body and of the mind. □

- A. By the time we are adults, we may stop participating in physical play altogether.
- B. As we get older, however, our games are likely to involve more mental than physical activity.
- C. When we are very young children, we use our bodies a lot when we play.
- D. As a result, we may begin to lose our physical health.

① B – A – C – D

② B – C – D – A

③ C – A – D – B

④ C – B – A – D

【解答&解説】

まず①～④の選択肢を見ると、先頭にくる文はBかCのどちらかだとわかる。Bの文を訳してみると

「**しかしながら**大きくなるにつれて、我々の遊びは身体的なものより、より精神的な活動を含むものになりがちである」

この文の中の however に注目する。「しかしながら」という **however** は、前後を「**逆[対照的]**」の関係でつなぐ論理マーカー。ということは、Bの前にはBと逆の内容を持つ文章がないといけないということになる。つまりBは先頭にはこれないということ。これでCが先頭にくるとわかった。正解の選択肢は③ (C – A – D – B) ④ (C – B – A – D) のどちらかだ。

ところでまたさっきの however の話に戻ると、however を含んだBの逆の内容を考えてみると、「小さい頃は、我々の遊びは精神的なものより身体的な活動を含むものだ」になる。これと同じような内容の文はCしかない。つまりCとBは内容的に逆の関係になっている(即ちつながる)とわかる。とすればもう答えは④しかない。念のためにAとDのつながりもみておくと、Dの先頭には **as a result**「その結果として」がある。これは前後を「**原因と結果**」の関係で結ぶ論理マーカーだ。そして読んでみると、AとDはまさしく原因と結果の関係になっていることがわかる。

A 「身体を使った遊びをやめる」 → D 「身体を健康を失いはじめる」
[原因] [結果]

《訳》 「健康を保つためには、我々は身体を使う遊びと頭を使う遊びつまり身体的遊びと精神的遊びのバランスをとらなくてはならない。我々は幼いときには、遊びをする場合に身体を非常に使う。しかしながら成長するにつれて、我々の遊びは身体的なものよりも、より精神的な活動を含むものになりがちである。成人する頃には身体を使う遊びに参加することを全くやめてしまう。その結果、我々は身体的な健康を失いはじめるのである」